

今なお色あせることのない偉人たちの功績

坂口安吾誕生祭 ～蘇る坂口安吾～

■と き 10月18日(土)13:30～16:30(13:00開場)
 ■ところ 新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)
 ■入場料 無料(先着600人)

明治39年に新潟市に生まれ、「墮落論」「白痴」など数々の著書を残し、48歳という若さで急逝した坂口安吾。永眠して半世紀が過ぎようとしていますが、その独自の作風や生き方は今日でも大きな影響を与えています。坂口安吾誕生祭では、こうした安吾の魅力とこれからの文化活動の方向性について、安吾ファンが語り合います。

第1部

基調講演 「坂口安吾遺品の現状とその活用について」
13:30～14:15

坂口家に保管されてきた、原稿、生活用品、蔵書など安吾の遺品の活用についての想いを、坂口綱男さんが語ります。

第2部

シンポジウム 「ふるさとの文化活動を考える」
14:30～16:30

パネラー 坂口綱男さん(写真家・エッセイスト)
岡田宣之さん(金沢市国際文化局)
小林一三さん(地域文化を考える会会長)
鈴木良一さん(安吾雑報編集長)
コーディネーター 若月忠信さん(文芸評論家・敬和学園大学教授)

懇親会
●ところ リバージュ(りゅーとぴあ内)にて
●と き 17:30～19:30
●定員 80名(申込みは、10月15日(水)まで)
●参加費 4,000円(当日徴収)

特別展示 坂口家保管「肝臓先生」の生原稿を公開します。

新津市美術館(☎25-1301)へ。

新津の文化 新津ゆかりの偉人たち

■と き 10月4日(土)～11月24日(振休)
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
*毎週水曜休館(11月5日、12日、19日は開館)
■ところ 石油の世界館2階企画展示室
■観覧料 一般(高校生以上)200円 中学生以下無料

近世から近代にかけて活躍し、各方面に大きな影響を与えた新津ゆかりの偉人たちの中から、明治34年の町村大合併当時における各地区を代表する人々の業績を肖像、書、画、遺品などを通して、振り返ります。
新津ゆかりの偉人たち
桂家 新津地区) 坂口家 阿賀満日地区) 小泉家 荻川地区)
吉田家 小合地区) 中野家 金津地区) 本間家 新開地区)
●問い合わせ 新津市美術館(☎25-1301)へ。

好きです！きれいなまち・新津

ポイ捨てしなさい宣言!!

新津市内では、犬の飼い主に、犬のふんの即時回収や公園の砂場でのふんの禁止が、条例により義務付けられています。
※市民と市内通行者に適用



違反者には 指導・勧告・命令
…最終的には3万円以下の罰金

市民生活課
環境衛生係
☎24-2111
内線232

新津市青少年健全育成 人権啓発推進市民大会

青少年による凶悪な犯罪が後を絶ちません。青少年を取り巻く社会環境の浄化や健全育成の取り組みが大きな課題となっています。また、犯罪防止のためには、人権を尊重する心や豊かな人間性をはぐくんでいくことが大切です。青少年の健やかな成長を願って、一緒に考えてみませんか。大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

■と き 11月9日(日)の午後1時～4時
(開場は午後0時30分)

■ところ 保健福祉センター

入場無料

第1部

◆開会式

◆青少年健全育成功労者表彰

第2部

◆わたしの主張



- ・「本当のボランティアとは」今津 舞さん(新津第一中学校3年生)
- ・「認め合えるすてきな社会」宮下理恵さん(新津第二中学校3年生)
- ・「本当のバリアフリーとは」内山夏海さん(金津中学校3年生)

第3部

◆講演「夢の探し方」



講師 江川紹子さん(ジャーナリスト)

昭和57年 早稲田大学政治経済学部卒業
神奈川新聞社入社

昭和62年 同社退社後、フリー

平成7年 一連のオウム真理教報道で菊池寛賞受賞

現在 テレビのレポーター、エッセイストなどとして活躍中

◎問い合わせ

新津市教育センター(☎24-2111、内線433)へ。

“鉄”人のココロをくすぐります



「鉄道のまちにいつ」の歴史を語ります

新津市鉄道資料館

■ところ 新潟県新津市東町2-5-6 新津地域学園内
 ■開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入場は午後4時まで)
 ■休館日 毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)および年末年始
 ■問い合わせ ☎0250-24-5700